

庄川中学校 令和4年度 入学式 式辞

川の流れ、堤防の桜。庄川の春はやはり美しい・・・そんなことを思いながら通う庄川沿いの道は、毎日少しずつ大きくなる桜のつぼみのように、私のわくわくする気持ちを膨らませてくれます。みなさんの入学を心待ちにしていました。33名の新入生のみなさん。ご入学おめでとうございます。心より歓迎いたします。そして、本日は、来賓の皆様をお迎えし、本校の入学式を挙行できますことに心より感謝申し上げます。

新入生のみなさん。庄川中学校は、「なりたい自分」に出会うことができる場所です。みなさんは、「こんなふうになりたい」、「こんなことをしてみたい」と考えたことはありますか？もしかすると、中学生になったら、小学生のときとは少し違う自分になりたいと思っている人もいるかもしれません。そんなふうに、自分が目指す姿を庄川中学校では「なりたい自分」と呼んでいます。

そんな、「なりたい自分」と出会うために、そして、中学校生活のスタートに当たり、2つの話をします。

1つ目は、「あきらめずに挑戦する」ということです。

中学校生活を送っていると、困難なことも必ず起こります。「よーし！やってみよう！」と決心しても、うまくいかないことがあるかもしれません。それでも、思いを持ち続け、試行錯誤し、改善を図りながら、進んでほしいと思います。

しかし、挑戦するには勇気が必要です。失敗するのはこわいし、何より自分がやろうと決めた挑戦をみんなは応援してくれるのか、不安です。

そこで、2つ目は、「あたたかい集団をつくる」というお話です。

集団のあたたかさは目に見えるものではありません。しかし、確かにあたたかさを感じるがあります。そんなあたたか

さの中では、安心して自分の思いを表現できると思いませんか？そして、おそれることなく挑戦することができると思いませんか？ですから、私はみなさん一人一人が、どうしたらあたたかい集団をつくることのできるか、考えながら学校生活を送ってほしいと願っています。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。私たち庄川中学校の教職員は、深い愛情を注いで育ててこられたお子様の「いのちの重み」「かけがえのなさ」を肝に銘じ、責任をもって、お預かりいたします。ご承知のように、教育は、学校・家庭・地域の連携があってはじめて成り立つものです。子供たちが、安心して活動し、なりたい自分に向かって挑戦できるよう、力を合わせていきましょう。

結びに、私からみなさんに、言葉を贈ります。なりたい自分に向かう階段は、決して簡単に上りきれぬものではありません。困難は必ずやってきます。そんなとき、この言葉がほんの少しでもみなさんの支えになればと思います。

やってみよう
とりあえずやってみよう
悩んで立ち止まるとき
もう進めないと思ったとき
とりあえずやってみよう
一歩踏み出せば
きっと違う世界が広がるから

みなさんが「なりたい自分」に出会えることを祈念して式辞といたします。

令和4年4月7日

砺波市立庄川中学校

校長 近藤 美恵子